

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第349号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2015年12月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

第51回建学祭「Start!!」入場者数5,849名

TOP*NEWS

吹奏楽部全国大会出場
野球部秋季大会ベスト4



全国大会出場〔吹奏楽部〕



秋季大会準決勝試合開始〔野球部〕

建学祭開催

Start!!

建学祭実行委員長 3年8組 阿部 美鈴

生徒の皆さん、先生方、保護者の方々、ご協力ありがとうございました。今年度のテーマは「Start!!」。昨年度が50周年の建学祭だったため、今年度は新たに出発しようという願いを込めて、このテーマにしました。

昨年同様、5,000人を超えるお客様に来ていただきました。各出展団体も個性にあふれていました。実行委員長という立場のなかで、不安なことも多くありましたが、大成功という形で終わって本当に良かったです。

高輪台らしい「Start!!」をきった建学祭。来年がさらに楽しみです。

英語スピーチコンテスト(高1)

これからに生かす

1組 龍造寺 未奈

学校説明会で、私は先輩の英語スピーチを聞き、この学校にはスピーチコンテストがあることを知りました。自分がそのコンテストに出られると聞いた時はとてもうれしく思いました。しかし、スピーチの内容には大変苦労し、どうしたら自分の気持ちを伝えられるか考え続けました。当日は緊張しましたが、優勝と聞いた時は本当にうれしかったです。これからも英語だけではなくいろいろなことにチャレンジして、学校生活を楽しくしたいと思います。



左から、山崎更紗さん、龍造寺未奈さん、山崎杏奈さん

英語スピーチコンテスト 結果	
優勝	1組 龍造寺 未奈
準優勝	1組 山崎 杏奈
3位	3組 山崎 更紗

日本語ディベート大会(高2) 肯定側優勝

●日本語ディベート大会論題●

「日本は成人年齢を満18歳にすべきである。是か非か」

ディベート大会を経験して

肯定側 9組 小林 航己

今回、私が日本語ディベート大会のクラス代表選手に選ばれたときには、正直なところあまり自信がなく不安な気持ちでした。しかし、チームの皆と準備をしていくうちに次第に積極的になり、自ら第一反駁を買って出ました。真剣に取り組むことで、ディベートの楽しさを知り、仲間と協力することの大切さを改めて学ぶことができました。高校生になって大勢の前でスピーチをすることは初めてでしたが、貴重な体験をすることができ、先生には感謝の気持ちでいっぱいです。仲間と支え合い、励まし合うことで得た優勝という栄光を、これからの人生に生かしていきたいと思えます。



左から、小林君、鶴崎さん、今井君、井戸君、中村君

英語ディベート大会(高3) 否定側優勝

●英語ディベート大会論題●

“Takanawadai Senior High School students should study abroad during their high school days.”

「高輪台高校の生徒は在学中に海外留学をするべきである」

ディベートから…

否定側 4組 岡田 佳太

クラス代表に選ばれた時、どこまで自分の英語力が通用するのか楽しみでした。しかし、実際に行ってみるとなかなか自分の思い通りにはいかず苦戦しました。チームのみんなと意見を交わしながら、どのようにしたら自分たちが優位に立てるのかなどを考えました。英語の先生に発音をチェックしてもらい、本番に臨むことができ、このディベートでたくさんのお話を学ばせていただきました。これからはこの経験を生かし、自分の英語力を磨いていきたいと思えます。



左から、藤井君、岡田君、寺田君、鈴木君、中村さん

2015年度 第10回 知財グランプリ結果

今年度で「知財グランプリ」は10回を数えます。

「知財グランプリ」は、生徒・保護者・教員の代表8名が高校のクラス展示や模擬店について、内容やメニュー・生徒の取り組み・装飾・ポスターの4つの観点から審査を行い、上位3団体とポスター部門1団体を表彰するものです。今年度も、調べ学習の発表や録音、映像、演劇など楽しい展示と、さまざまな味を楽しむことができる模擬店が企画されました。多彩な取り組みが出揃う中、今年度の総合部門とポスター部門の優秀クラスが選出されました。中等部3年生や高校1、2年生の皆さんは、今回の受賞クラスを参考にして来年度の企画で新たなチャレンジをしてください。



グランプリ 1年4組 白雪姫

アリーナでのクラスによるお芝居は、知財グランプリが始まって以来、初めての試みでした。15分という限られた時間の中で、生徒による脚本、演出、選曲、舞台美術など、すべてをクラス一丸となって成し遂げた出来栄の良さが、審査員の高い評価につながりました。

準グランプリ

2年9組 ウツブサ フレンドパーク

映像の展示団体が多かったなかで、ストップモーションの手法により、動画にはない手の込んだ映像と音楽とを見事にシンクロさせ、ユーモラスな内容が好評でした。切り絵のポスターも高い評価を得ました。



2年10組 駄菓子菓子

緑日+SSH+駄菓子+3というコンセプトで、紙飛行機やペットボトルの空気砲をお客さん自身に作ってもらい、それでゲームをするという参加型の展示内容が好評でした。



ポスター部門賞

3年7組 本当はチョコバナナが やりたかった わたがし屋さん

綿菓子を持ったかわいらしいウサギがほうきに乗った、ハロウィン調のていねいな仕上げの絵が、審査員の目を引いたようです。

後援会から建学祭の収益金を寄贈していただきました

10月10日(土)・11日(日)に第51回の建学祭(文化祭)が行われました。今年も後援会主催による「バザー」および「けやき屋食堂」は大盛況となり、後援会からは収益金を学校に寄贈していただきました。準備、運営にあられた後援会の皆様には心より感謝申し上げます。

また、多くの保護者の方々にバザー用品抛出のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

なお、寄贈いただいた収益金は、教育活動に役立つものの購入など有意義に活用させていただくとともに、一部を私学ボランティア基金へ募金させていただきます。



全日本吹奏楽コンクール全国大会

吹奏楽部

挑戦の時

吹奏楽部顧問 畠田 貴生

11月1日に名古屋国際会議場白鳥センチュリーホールにて行われた、第63回全日本吹奏楽コンクール全国大会において、本校吹奏楽部は銀賞を受賞しました。昨年の悔しい想いを果たすべく、今年はいよいよ全国大会で演奏されることになった

たブルックナーの曲に挑戦しました。会心の演奏となりましたが、審査員の先生方の評価は厳しいものがありました。しかし、確実に高輪台吹奏楽部の歴史的な演奏となりました。皆様のご声援、誠にありがとうございました。

10回目の全国大会

3年7組 吹奏楽部部長 島岡 茉奈

私たちは全国大会に出場し金賞をとることを一番の目標として、毎日部活動に取り組んでいました。結果は銀賞となりましたが、昨年の12月に仮A編成として積み重ねてきた努力や経験は、決して無駄にならないということに気付くことができました。このような想いになったのも毎日支えてくれている親やクラスの友達、そして先生方と多くの人たちに助けられているからだと思えます。本番の12分間は私たちにとって宝物になりました！本当に応援をありがとうございました。



名古屋国際会議場センチュリーホール前にて

秋季東京都高等学校野球大会

野球部

全校応援

野球部監督 宮嶋 孝一

私は全校応援の雰囲気大好きです。メンバーだけでなく、スタンド全体が一体となる経験は一年間学校にしようともなかなか経験できないと思うからです。学校全体が高輪台の活躍を喜べる。こうしたチャンスは滅多にない分、大切にしていきたい時間です。2008年夏2試合、2012年春2試合、2013年秋2試合、今秋2試合、野球部として全校応援を経験して気付いたことがあります。それは陰日向なくコツコツと毎日を大切に過ごす

ことがいかに重要かということです。野球だけ頑張っている、皆さんの前ではなかなか普段通りのプレーは披露できません。何より心からの応援はしてもらえません。応援していただく野球部の人間として、このことに気付けるまたないチャンスでもあるのです。大会中の二度にわたる大声援をありがとうございました。本当に勇気づけられました。聖地での全校生徒の校歌斉唱を目標にさらなる努力をしていきます。

新チームになって

2年7組 野球部主将 嶋崎 草太郎

私たち野球部は、9月から行われた秋季東京都大会においてベスト4という結果を取ることができました。新チームになってから甲子園出場を目標にやってきました。準々決勝では、苦しい展開の中、全校生徒による頼もしい応援の力もあり、勝利することができました。今回野球部を応援していただいた吹奏楽部、ダンス部を

はじめとする全校生徒の皆さん、教職員、保護者、OB、OGの皆様、ありがとうございました。二松學舎戦ではふかいない試合を見せてしまいました。しかし、この試合で自分たちの未熟さを痛感することができました。この屈辱をバネに、春、夏リベンジできるよう日々精進していきますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



2塁打を放つ嶋崎君



全校挙げての応援



先発投手の飯塚君

2016年度東海大学付属推薦入学合格者決定 374名の生徒が希望の専門分野へ進学します

今年度、東海大学推薦入学試験を受験して合格した生徒は374名であり、これは現3年生の約90%にあたります。進路指導部・高校3学年の先生方が一体となり、きめ細やかな指導を行った結果、多くの生徒が無事に希望した分野への進学が決定しました。

きみの未来は、東海大学から世界へ広がる

東海大学は、新しい大学教育の先駆けとして「世界標準の大学」を目指しています。単なる語学力だけでなく、多種多様な価値観を理解し、世界の仲間とともに、あらゆる視点で問題を見つめ解決していく。そんな学生を、一人でも多く世界へ送り出すために、充実した学びの機会を届けています。

ご存じの通り、本学は全国に8キャンパスがあり、18学部77学科・専攻・課程をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、今年度も一部の学科を除いたほとんどすべての学部・学科において、7月4日・5日に各自が将来進学することになるキャンパスで、推薦候補者説明会が実施されました。その際には、大学の先生による個別面談と、夏期休暇中の課題である「個別指導課題1」が提示されました。そして、10月からは大学の先生方による巡回指導があり、個別指導課題1の添削指導や大学入学へ向けての学習に関するアドバイスが行われております。この指導は、12月末まで続きます。

さらに、今後は「個別指導課題2」が提示されて大学への準備が確立されるとともに、既に開始されているe-learningを利用した高校3年間の学習の総点検が実施されています。これらは知的好奇心を高めると同時に、大学入学までにどれだけ基礎学力を充実させておくべきかの確認になります。

本校では、12月に入ると学科別にクラスを編成し直した特別講座も開始します。入学前学習や特別講座に全力で取り組み、残り少ない高校生活を充実したものにしてください。



●推薦状況

東海大学・学部	人数
国際文化学部	4
生物学部	1
情報通信学部	18
文学部	40
観光学部	28
政治経済学部	40
法学部	25
教養学部	35
体育学部	27
理学部	14
情報理工学部	4
工学部	83
医学部	6
健康科学部	11
海洋学部	12
経営学部	2
基盤工学部	3
農学部	2
小計	355
東海大学短期大学部	5
東海大学医療技術短期大学	6
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	8
小計	19
総合計	374

ICT教育研修会・推進委員会開かれる

10月20日(火)に一般財団法人東京私立中学高等学校協会・東京私学教育研究所主催の『情報教育・視聴覚教育研究会／教務運営研究会「合同見学研修会」—タブレットPC・スマートフォンを利用したICT授業の見学—プログラム』が、翌21日(水)に東海大学の『初等中等教育機関ICT教育推進委員会』が開催されました。これは、文部科学省がこれからの日本の教育が目指すものとして「ICT等の活用による学びの機会充実」「アクティブラーニングの視点からの学習の充実」などを提唱していることを受けて、東京都の私立学校、東海大学の初等中等機関が研修会を開いたものです。

20日の「合同見学研修会」には、150名を超える参加者を迎え、東海大学情報通信学部のキャンパスと本校を会場として、スマートフォンを活用した授業とタブレットPC「Surface3」を用いてアクティブラーニングの手法を取り入れた授業を公開いたしました。21日の「ICT教育推進委員会」では、東海大学の小学校から高校までの全ての学校から選ばれた教員の委員が集まって、学園のICT教育の将来について熱心な討議が行われました。

本校では、これから全国の学校をリードするICT教育を展開していきます。



2015年度学校運営方針

2015年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.3

「現代文明論」、「高校現代文明論」を推進する

「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を育成する

実験を重視した理科授業を推進する

「書き方指導」の具体的対応と対策に取り組む

附属高校生のための海外研修「SHIP」「附属高校生のためのヨーロッパ研修」の奨励

「東海大学学園オリンピック」「中高生の理科体験授業」「東海大学高等学校生徒会会長会議」の奨励

「学園オリンピック(スポーツ部門)参加関係者のための学部学科説明会」参加への積極的な働きかけ

建学記念絵画・作文・小論文の応募への積極的な働きかけ

東海大学は1946年に旧制大学令による大学(旧制)として認可され、その後1950年には新制の大学となりました。創立当初から「文理融合」を教育理念として掲げ、現在は東海大学に18の学部を擁する他、3つの短期大学と、海外の教育機関(HTIC…ハワイ東海インターナショナルカレッジ)を持つ、総合大学となっています。

また、幼稚園から大学院まで、充実した独自の一貫教育を実施し、全国には14校の附属高等学校と7校の中等部(提携校含む)があります。

今回あげた取り組みは、東海大学のすべての附属校が共通して取り組んでいるもので、全国に広がる附属校の横のつながり、そして一貫教育の縦のつながりという東海大学のスケールメリットが存分に活かされたものであるといえるでしょう。理科教育を例にすると、附属校では、実験・実習を体系化して授業のための各種データを共有する試みを進めています。また、「中高生の理科体験授業」を通じて中高大が連携して中高生を指導する取り組みも行っています。

本校をはじめとする附属校では、生徒も教員も自校の中だけでなく、学園全体の大きな広がりの中で互いに学び合い、切磋琢磨しています。

学年だより 中1

～建学祭～

10月10日(土)、11日(日)に建学祭がありました。生徒たちにとっては初めての建学祭です。内容は「学習発表」でした。各教科完成までにはさまざまな道のりがありましたが、結果として、工夫を凝らして発表することができました。附属校ならではの模擬店や高校生たちの展示に触れて、感動したことを目をキラキラさせて報告してくれました。思い出に残る行事であったようです。

いろいろあった建学祭

A組 永藤 未彩

グループが決まってから1回目の話し合いの時、クイズをやることと、模造紙に書くことがすぐに決まりました。私は社会の担当でした。そして準備期間に入り、まず1日目は展示する夏休みの宿題を決めました。その時お互いの意見が衝突してしまいました。そのことが尾を引き、準備が順調にできませんでした。2日目はクイズを考えました。そして教室のブースづくりをみんなで作り、飾りを造ったり、模造紙を書いたりしました。この時も言い争いばかりしていました。そのせいか、社会のグループはチームワークが全くありませんでした。だから本番は絶対にうまくいかないと思っていましたが、結果的にはうまくできました。シフト以外では、高校生がやっていた模擬店に行きました。綿菓子がおもしろかったです。来年はさらに良い建学祭にしたいです。

笑顔の建学祭

B組 石川 結萌

建学祭はシフトなど大変だったけれど、とても楽しかったです。綿菓子、チョコバナナを食べましたが、とてもおいしかったです。また、縁日や、バカッコイイ、絵本の森などはとても面白くて楽しかったです。絵本の森で怖い話を見て、夜の学校という話では東海大高輪台が舞台になっていてとてもリアルで怖かったです。シフトの時はお客さんが笑顔で教室を出ていくのを見て、うれしかったし、安心しました。自分たちも楽しむことができたのでよかったです。B組の音楽のブースで音楽を流して、みんなで踊ったりして盛り上がり楽しかったです。来年は今年よりもっと楽しくて、ずっと笑顔でいられる建学祭にしたいです。

初めての建学祭

A組 高橋 優

僕が建学祭で特に印象に残ったことは2つあります。1つ目は自分の学習発表です。僕は国語の担当でしたが、英語担当の人たちと一緒に桃太郎の劇を演じました。僕はナレーターの役だったのですが、前庭に行ったときに先輩に「君ってあの桃太郎をやっていた子でしょう。よかったよ」と言われたので、とてもうれしかったです。2つ目はいろいろな店をまわったことです。僕はたくさん金券を買ってしまったのですが、何とか食べきれなくてよかったです。また、先輩の方々が、いろいろと優しくしてくれたので、とてもうれしかったです。来年もさらに楽しい建学祭になるように頑張りたいです。

初めての建学祭

B組 金城 丈

僕たち1年生は、授業でやったことを発表する学習発表会をしました。僕は理科の担当でした。理科のグループではコップの上に板を乗せて、その上にお客さんが立ってみるという圧力の実験でした。小さい子どもがたくさん来て、うれしかったです。その実験の説明は難しかったけれど、だんだんと慣れてきて、説明するのが楽しくなってきました。2日目はフリーの時間が多くて、自分の中では結構楽しめました。途中紙コップがなくなるというアクシデントがありましたが、結果とても楽しく終わることができました。来年も楽しい建学祭をやりたいです。



皆で一致団結して頑張りました!!

学年だより 中2

建学祭を終えて

今年の建学祭の中等部2年の展示は、「時をかける博士の忘れ物 ～博士を助けるのは君だ!～」というタイトルで来場者の方々に楽しんでいただきました。いろいろな時代にワープしながら、忘れ物を探していくという、宝探しの要素を含んだ展示内容でした。独創的なアイデアを生徒たちが考え出し、来場者に喜んでいただける多くの工夫が見られました。

楽しんだ建学祭

A組 小野澤 佑太

建学祭の準備は、何日も前から放課後に時間を作ったりして準備していました。しかし僕は習い事があるので事前の準備にはあまり参加できませんでした。建学祭の2日前からは1～6限まで建学祭準備になるのですが、ここでは事前の準備で協力できなかった分積極的に頑張りました。

当日は自分のシフトの時間内容もしっかりできました。また、シフトが入っていない時間は友達といろいろな出し物を回って楽しむことができました。

来年の建学祭は中等部最後になるので、今回の大成功の経験を生かしてもっと良い出し物ができるように頑張りたいです。

みんなで作った建学祭

B組 貝原 智紀

今回の建学祭で中等部2年生は、一から自分たちで取り組もうという目標を持っていたので、物品の注文や教室内のレイアウトなどみんなで力を合わせて頑張りました。僕は建学祭係だったのですが、係りのみんなでどんな内容にしようかと話をしました。そこで、僕をモデルにしたおちょこちゃん貝原博士がタイムマシンに乗って、時間旅行をしていた時、忘れ物をしてしまい困ってしまったので、貝原博士の代わりにお客さんがタイムマシンで忘れ物を探しに行くという設定にしました。自分がモデルになるという話が出たときは、そんな展開になるとは思っていなかったので、「やったー」という気持ちと、少し恥ずかしいという気持ちがありました。特に恥ずかしかったのは、博士が忘れ物をしたという記者会見の動画を撮ったことです。

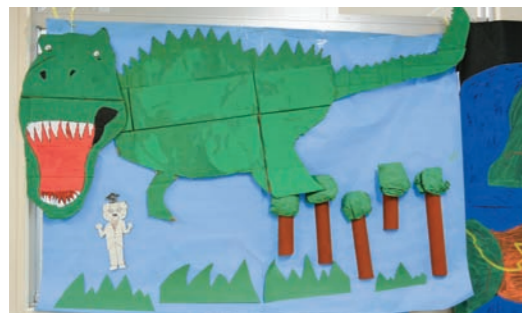
全員で力を合わせた結果、中等部2年生のブースは評判が良くお客さんは2日間で600人ほど来ていただきました。自分たちで考えて行動するという良い経験になりました。



来場者にスマイル!



力作を前にポーズ



工夫したデザイン



工夫したデザイン

学年だより 中3

☆中等部最後の建学祭☆



割りばしで作ったお城

今年の建学祭で中等部3年生は2月に行く海外英語研修旅行(オーストラリア)の事前学習発表を行いました。オーストラリアの動物やお土産、テーマパーク、有名人、お菓子などをゲームや顔パネルのような体験型のもの で発表しました。最後の片づけでは、皆で協力して非常に早く終わり、さすが3年生という姿が見られました。

中等部最後の建学祭

A組 清水 葵

私の班は、オーストラリアの有名人のクイズとストラックアウトをつくりました。準備期間の1日目は作業を分担してとても効率良くでき、ほとんど完成まで近づきました。2日目は装飾や仕上げをしていきました。私は班長だったし、委員会もあり、とても忙しかったです。

当日ブースに来てくださった方が、「すごい!」とストラックアウトを褒めてくれて、とてもうれしかったです。

途中でトラブルがあったり、ミスがあったりしたけれど、無事に2日間終わってよかったと思います。疲れたときに友達が声をかけてくれたり、助けてくれたり、意見が合わない時もあったけれど、高校はまだ違った形のものになってしまうだろうから、中等部最後の建学祭をこのメンバーで頑張れてよかったです。



有名人当てストラックアウト、当てるとくると回転します

オーストラリアンフットボール

B組 時田 航季

私の班は皆部活動が運動系だったので、スポーツについてやることにしました。オーストラリアから始まったオーストラリアンフットボールや、ネットボールのルールをまとめたり、日本のスポーツと比較したりして模造紙にまとめました。またオーストラリアンフットボールを再現したゲームを作りました。このゲームを作る前は、サッカー版を作るつもりでしたが、自分たちの企画が甘く、先生に検討しなおすように言われてしまいました。しかしその失敗をもとに、オーストラリアと関係の深いこのゲームを企画することができました。

建学祭当日は、小さな子どもや大人も楽しんでくれていて、とてもうれしかったです。

今回の建学祭は、中等部生活最後の建学祭でしたが、非常に楽しかったし、心に残る建学祭になりました。高校生になっても、中等部で学んだことを忘れずにいたいと思います。



細部にまでこだわったオーストラリアンフットボールを再現したゲーム



笑顔で受け付け☆



写真をたくさん貼って「オーストラリア」の文字を浮き立たせました



コアラとカンガルーの顔パネル完成!



オーストラリアのお菓子に関する大きな雑誌を可愛く作りました



三大テーマパークを巡るすごろくです!

学年だより 高1

建学祭①

10月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、第51回建学祭が行われました。劇や模擬店、縁日など、工夫を凝らした出し物はどのクラスも大盛況でした。建学祭委員の感想を2号にわたって特集します。

高校生活初の建学祭

1組 鈴木 里奈

私たち1組は校内模擬店としてジュースバーを開きました。私はクラス建学祭委員でクラスの皆より少しだけ中心で準備をしました。初めての建学祭で私にもわからないことだらけで、同じクラス委員の子にたくさん頼り、クラスの皆にたくさん助けられました。なかなかうまくいかないこともありましたが、とても楽しい2日間になったと思います。

苦勞の建学祭

2組 門脇 康平

私たちのクラスは、「ばかっこいい動画」を作成しました。6月ごろから撮影をはじめ、たくさんの動画を撮ることができたのですが、建学祭前々日にやり直しが生じ、たった1日で編集作業をしなくてはなりません。その中でも、先生方やクラスの友達が協力してくれて、無事完成しました。苦勞して作った動画を当日たくさんの人に見てもらうことができ、うれしく思いました。来年はもっといい作品を作りたいと思います。

協力の大切さ

3組 柳 麗菜

私たちのクラスでは、縁日をやり、とても賑わいました。最初はクラスがばらばらだったのですが、徐々に協力してくれる人が増え、最後には全員が率先して仕事をしてくれたので、楽しく建学祭を終えることができました。また、ダンス部では練習した成果が発揮でき、最高の演技をすることができました。来年も今年のような盛り上げを見せたいと思います。

建学祭を終えて

4組 高橋 紘太

私たちは白雪姫の劇をしました。はじめはみんな気持ちが入らず、なかなか準備も進みませんでした。しかし、担任の先生や級長の声掛けにより、少しずつ団結し、準備を進めていくことができました。本番でその成果を発揮することができたのではないかと思います。あと半年ですが、建学祭で得た団結力をクラスで生かしていきたいと思います。

緊張感!!

5組 内田 裕貴

今年の建学祭はとても忙しいものでした。初の建学祭だったので、不安や緊張がたくさんありましたが、とても良い経験を積むことができました。先輩方ともたくさん接することができたので、それも良い経験になりました。次は後輩がいる状況で取り組まなければならないので、自分自身しっかり頑張りたいと思います。



模擬店 ジュースバー



演劇「白雪姫」



準備も楽しく



3組の縁日



保健委員でも活躍

学年だより 高2

体育祭

9月30日(水)にさいたま新都心にある総合グラウンドにて体育祭が行われました。数えて14回目ですが、今回は中等部生との合同体育祭ではなく、高校生をみの単独挙行となりました。当日は天候にたいへん恵まれて、青空の下、気持ち良く1日を過ごすことができました。

本校の体育祭は「クラス別」というよりも「色別」でチーム編成されており、赤組が優勝を飾りました。(緑:1組、青:2・10組、黄:3組、オレンジ:4・8組、赤:5・7組、白:6・9組)

次号は建学祭を特集します。お楽しみに。

高校体育祭

5組 二瓶 彩香

今年の体育祭は天気に恵まれ、初めて高校生のみで行われました。

競技種目は玉入れ、棒引きや大とりとなる色別対抗リレーのように皆が競い合うもの、ムカデ競走や華のステージなど1年生から3年生が協力し合うものとさまざまでした。なかでも盛り上がったのは、今年初めて行われた借り物競走でした。「色」や「学年」に関係なく、出場している人と一緒になって応援できたからです。そして、毎年多くの人が楽しみにしているのが、部活動対抗リレーです。それぞれの部がユニフォームで参加していました。ダンス部や剣道部は観客を魅了し、陸上部は男女ともにグラウンド内を沸かせました。

勝ち負けよりも、一つ一つの競技を楽しむ姿勢が印象的な体育祭になったと感じました。

今の2年生は、来年度も同じクラスで体育祭があるので、今回よりもっと協力した姿を見ることができると思うと、今から楽しみです。

VICTORY!!

5組 原 優里

2年目の体育祭、天候にも恵まれ、秋空の下、無事に執り行われました。学年やクラスの枠を超えての一体感があり、思い思いのハチマキも色とりどり鮮やかに皆の熱気を盛り上げていたようでした。私が出場した台風の目、色別対抗リレー、部活動対抗リレーは、全体が団結して見ごたえのあるものになりました。特に最後を飾った色別対抗リレーでは、チーム全体で一丸となり、バトンを最後までつなげることができ、1位に導くことができました。スタートダッシュの時、2、3位に位置して、どんどん入れ替わり順位が変動していくのを見ていて、ハラハラドキドキしました。

また、日々の部活動で鍛えられた瞬発力や持久力のぶつかり合いだけでなく、応援で振り絞り喉もガラガラに、日焼けした肌もヒリヒリにと、終わってからも体育祭の余韻をそれぞれ感じていたのかもしれない。

私にとっても忘れられない思い出深い1日になりました。



ムカデ競走より



障害物競走より



障害物競走より



ローハイドより



棒引きより



休んでいるのではなくて!

学年だより 高3

前夜祭

今年度から前夜祭が“Start!!”しました。今回は出演した団体を特集します。

縄2本で華麗に舞う TAKANAWA DDC

8組 山本 美季

私は今回の前夜祭で初めてダブルタッチに挑戦してみました。友達に誘われたときは乗り気ではなかったのですが、だんだんと楽しさを知り、同時に練習への意欲も増しました。本番では参加者全員で盛り上がることができ、良い経験になりました。このような機会を与えてくださったことと、協力してくださった方々に感謝したいです。



野球部3年の爆笑パフォーマンス!“E”

3組 小柳 陽太郎

偉大な生徒会の先輩たちが企画し続けてくれた前夜祭が、実現できることとなりました。そんな前夜祭を盛り上げようと私たち“E”は立ち上がりました。規制などは高輪らしいものがありましたが、演技は大成功でした。見に来てくれた皆さんありがとうございました。来年はさらなる高みを目指して今年以上に盛り上げてください。



部の垣根を越えた夢のコラボレーション!!

1組 相川 莉佳子(ダンス部)

前夜祭のトリとして軽音とダンスのコラボを行いました。生音でダンスをすることは初めての体験で、踊っていて本当に楽しかったです。部活動を超えて絆が生まれ、建学祭をさらに盛り上げることができました。



5組 高林 海人(軽音楽部)

念願のダンス部と軽音楽部のコラボが実現し、私たちの作った曲にダンス部が振り付けをして踊ってくれました。このような経験は前夜祭がなかったらできなかったと思います。とても楽しくて、貴重な時間になりました。

建学祭 Step ①

実行委員や第3学年委員、そして勇士(有志)の計34人がソーラン節を踊りました。

太鼓舞

4組 赤須 東晃

ソーラン節を練習したのは小学校以来でした。私は今回、太鼓を担当したのであまり目立つポジションには立てませんでしたが、会場を多少は盛り上げることができたと思います。最後の建学祭でまた一つ良い思い出を作ることができました。

つくりあげたもの

6組 近藤 千裕

今回私は有志としてソーラン節に参加しました。普段の生活ではやらないような動きがたくさんあり、フリを覚えるのが大変でした。みんなで一つのものをつくるのが素晴らしいと改めて実感しました。



☆写真(一部)は長濃舞(8組)が撮影しました
★本号の紙面作成は尾前隼士(5組)が担当しました

SSH活動報告

3年SSHクラスは、「課題研究」という授業を行ってきました。自分たちで決めたテーマで実験・研究し、その成果を論文という形にまとめました。また、パワーポイントやポスターを用いて外部でたくさん発表をしました。英語で発表したり、大勢の人の前で発表したりとSSH活動でしかできないことをたくさん経験してきました。この授業を通して全員の成長した姿を見ることができました。

課題研究を発表

3年9組 中榮 龍一

私は、課題研究での成果を大阪で行われた高校グランドコンテストで発表しました。私たちの班は『手作りセッケンの洗浄力と成分』というテーマで研究をしました。1年のSSHの授業でセッケンを作り、泡立てた際に市販のセッケンと手作りセッケンに、泡の立ち方に違いがあったので、洗浄力にも違いがあるのではないかと思ったのがきっかけで研究をしました。実験がとても複雑で、失敗も重なり時間がかかりましたが、班のみんなで協力して結果を出すことができ、校外で発表することができました。発表会では、周りのレベルも高く緊張しましたが、たくさんの質問や助言をいただき無事に終わることができました。この研究を通して、発表や論文作成のノウハウを学ぶことができたのはもちろんですが、何事にも探究心を持たないといけないことを学びました。このような貴重な経験をするので、大学や社会に出たときにしっかりとつなげていきたいと思っています。



高校グランドコンテストでのポスター発表

2015年度 3年課題研究 研究内容一覧

- 分かりやすい授業実践のための教具作り 矢萩真美子
- データバレー〜サーブの極意!? 谷川諒
- SEKAI NO OWARI×数学 望月ルカ
- 三角形の合同分割 中村美優
- 野球と数学 上村純
- 液体の防音効果 今村光来、奥島有騎、小原優平
- 翼平面の型と迎え角 大塚陸人
- 翼に作用する力 小松知広、東使利親、藤井崇史
- 超伝導体を用いた力学的エネルギー保存則の実験の研究 篠田拓良、佐藤浩斗、渡邊光
- ペットボトルロケット 磯野駆、越川雄真、小林賢矢、田中理祥

- 化学 日焼け止めと光の関係 新川琴乃、平賀絹子、廣瀬ありさ
- HandMade Soapの成分and洗浄力 川原凜二郎、中榮龍一、村越聖哉
- 情報 手で書いた文字を認識する 菊池航平
- 効率の良い集中方法 菅野大輔、田中信之介、渡邊健一
- メダカの行動変化と溶存酸素 浅澤昌志、中島大輝
- 除草剤の濃度と発芽率 河村遼佳
- カプトムシとプロテイン 木島沙莉亜
- 生物 光によるゼブラフィッシュの体色変化について 石原大地、星見有祐
- 唐辛子の辛さについて 大江瑛久
- 各光色における金魚・プラティの反応 星達也
- コウジカビの可能性 伊藤瑚子、鈴木雅裕、布施拓己
- 環境の変化がブラナリアの再生速度にもたらす影響 三田健史

SSH成果報告会を開催

10月24日(土)、今年度のSSH成果報告会を開催しました。この報告会は、文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定を受けた本校が、現在取り組んでいる先進的理数教育の内容と成果を外部に発信することを目的としたものです。

当日は、SSH活動を支援するJST(国立研究開発法人科学技術振興機構)や、他のSSH指定校の先生方、東海大学および東海大学付属校の先生方、本校のSSH活動にご協力いただいている他大学や研究機関の先生方にご出席いただき、本校の取り組みを報告するとともに、公開授業と生徒のポスター発表をご見学いただき意見交換を行いました。

公開した授業は、アクティブラーニングを取り入れ、幅広い視点から科学について考える力を養う「科学文明論Ⅱ」と、英語で研究内容を発表討論する力を養う「アカデミックプレゼンテーションⅠ」および同Ⅱの3科目。ポスター発表は、1年生が訪問した企業の技術や研究の内容について、3年生が自身の課題研究に関して、まとめたポスターを用いながら来場者に説明をしました。



「科学文明論」でのアクティブラーニング

お知らせ

高校3年生特別講座開始

自ら学び、探求する姿勢を大切に!!

期間 12月8日(火)～1月30日(土)

目的 大学の授業に備え、高校時代に身につけておかなければならない知識などを、これまでの授業とは別の角度から学ぶ。

大学では、1人ひとりの学ぼうとする姿勢が高校以上に大切です。学習に対するしっかりとした姿勢を身につけましょう。

中等部吹奏楽部 第7回定期演奏会

日時:12月27日(日) 15:30 開場 16:00 開演

場所:高輪区民センター 区民ホール(白金高輪駅下車出口1を出てすぐ)

入場料:無料(12月1日(火)より高輪区民センター窓口で入場券配布)

1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

行事予定

December 12月

January 1月

- 1日(火) 卒業試験(高3～4日)
後期中間試験(中等部～2日、高校～4日)
- 3日(木) 中等部スポーツ大会(午前)・キャリア教育(午後)
ファミリー・スーパーサイエンス教室
- 4日(金) 中等部校外活動
1年:寄席鑑賞会(お江戸日本橋亭)
2年:理科学習(科学技術館)
3年:文楽鑑賞(国立劇場)
- 5日(土) 中等部3年保護者会(14:30～) 高校3年自宅学習日
- 6日(日) 高校学校説明見学会(5回目)
- 7日(月) 朝礼[正制服] 短縮授業 答案返却日(高3)
- 8日(火) 特別講座開始(高3～1/30)
校医相談日⑧
- 11日(金) 中等部三者面談開始
- 12日(土) 後援会湘南校舎見学研修会 高輪会役員会
- 15日(火) 高校入試相談日 生徒自宅学習日
- 17日(木) マナー講座(高3)
- 24日(木) 午前中授業 冬期休暇前諸注意・大掃除
- 25日(金) 冬期講習(～12/28)

- 6日(水) 新春懇親会
- 7日(木) 朝礼[正制服] 短縮授業
- 10日(日) 中等部学校説明見学会(5回目)
- 11日(月) 成人の日
- 14日(木) 学年集会(中2、高2)
- 15日(金) 漢字検定(希望者)
- 16日(土) 数学検定(希望者)
- 19日(火) 校医相談日⑨
- 20日(水) 中等部入学試験願書受付
第1回(～1/30)・第2回(～2/2)・第3回(～2/4)
専門医によるカウンセリング⑤
- 21日(木) 生徒による授業評価アンケート④
生徒による学校評価アンケート②
- 22日(金) 高校推薦入学試験 生徒自宅学習日
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 23日(土) 高校推薦入学試験合格発表 英語検定(中等部:3、4時限)
- 28日(木) 卒業試験(中3～30日)
特別時程(中2、中3、高校～30日)
- 30日(土) 特別講座終了(高3)

建学祭準備



編集後記

今年のカレンダーも、残すところあと1カ月となった。毎年この時期になると思うことではあるが“なんて1年は早く過ぎるのだろうか”。クリスマスが過ぎ新年へのカウントダウンが始まると「あれもこれもしなければ」という気持ちだけが先走り、心なしか落ち着かない日々が続く。俗に、『人は心にゆとりがない時ほどいろいろな災いがふりかかる』といわれる。この慌しい年末を元気に乗り切るためには、いつも以上の自己管理が大切になってくる。今年1年を振り返りながら、つつがなく年の瀬を迎えたいものである。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>